

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 8年 6月 25日
契約業者名	阪神高速技研(株)
契約業者の住所	大阪府大阪市北区中之島3-3-23中之島ダイビル23階
業務の名称	2025年度阪神高速道路の交通技術に関する調査検討等業務
業務場所	阪神高速道路株式会社が指定する場所
業務種別	(その他)
業務概要	交通管制・交通安全に関する調査検討業務
業務期間(自)	令和 7年 7月 25日
業務期間(至)	令和 8年 6月 30日
契約金額	194,909,000 円
変更金額	16,479,432 円 増
変更後の契約金額	211,388,432 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

2025 年度阪神高速道路の交通技術に関する調査検討等業務 第 1 回変更

6-1. 交通管制に関する検討

6-1-3. 情報提供に関する検討

(2) 時間帯別 Q 係数に関する検証【一部変更】

当初は時間帯別 Q 係数の検証を交通管制システムにおいて実施することを予定していたが、検証におけるシステム側における課題が存在することが判明したため、別途ログデータを用いた机上検討に変更したもの。

(3) ITS スポットに関する検討【一部変更】

ITS スポット設置基準（原案）の作成については、設計基準第 1 部計画基準の変更で対応することとしたため実施しないことにしたものの。

(4) 「阪神高速はしれ Go!」のあり方検討【追加】

お客さまサービスのさらなる向上を目的として、「阪神高速はしれ Go!」の利用実態を把握する WEB アンケート（有効回答数 1,200 程度）を実施し、今後の情報充実に向けた検討の基礎資料を作成することとしたため、本業務に追加することにしたものの。

6-2. 交通安全対策 基本計画の推進に係る検討

6-2-1. 「効果・実績のある施策の確実な推進」に係る検討

(1) 実施計画の予定と実績管理及び事故発生状況等の整理【一部変更】

実施計画の予定と実績の管理、2026 年度の実施計画の作成に伴い、確認会議の回数の変更（数量変更）が必要となったものの。

(2) 出入路カルテの整備・更新及び逆走・誤進入件数の予測モデルに係る検討【一部変更】

初期検討の結果、車両以外の誤進入については、モデル分析に必要な報告実績の確保が困難と判断されたことから、予測モデルの検討は車両のみに着目することとし、車両の逆走報告実績の多い入口や誤進入が推定可能な入口を対象にモデル分析を行うとともに、今後の課題整理を実施することに変更したもの。

6-2-2. 「さらなる実効性向上や底上げに向けた取り組み」に係る検討

(1) 「詳細な分析等による個別対策の実効性向上」に係る検討【一部変更】

環状線周辺の個別対策の検討については、分析量が当初の見込みより増大することが判明したことから、実施内容について協議した結果、検討対象は「1 号環状線 池環合流（環）付近」のみとしたものの。

(2) 「汎用的な施策の展開による交通安全性等の底上げ」に係る検討【一部変更】

「交通安全対策 ガイドライン」については、運用方針について、現場部門との調整に時間を要したことから、本業務では、過年度に実施した対策の効果を整理したうえで、ガイドラインの位置づけと役割、対策の分類体系や対策選定の考え方、運用方法等を整理するとともに、ガイドラインの作成は運用方針の整理までとすることに変更したもの。

(3) 「状況に応じて柔軟に対応できる新技術の導入等による底上げ」に係る整理・取りまとめ【一部変更】

施設接触事故等の分析について、分析に必要となる、詳細な舗装打ち換え履歴の把握が困難であることが判明したため、本業務では、分析に必要な舗装打ち換え年月日が把握できる資料の現状整理と調査手法を検討する内容に変更したもの。

6-2-3. 交通安全対策 基本計画（第 1 期）の中間評価及び第 2 期の目標設定

（2）交通安全対策 基本計画（第 2 期）の目標設定【削除】

第 2 期の目標設定は、別途実施することになったため、本業務から削除するもの。

6-2-4. お客さまとのコミュニケーションの充実に係る検討【追加】

交通安全対策は、ハード対策だけでは限界があり、ハード対策とあわせて、阪神高速道路をご利用されるお客さまの交通安全意識の醸成が必要不可欠であることから、本業務で追加検討することにしたもの。

6-2-5. 交通安全対策に関する道路施設設備設置の最適化に向けた検討【追加】

阪神高速道路の維持管理の合理化の一環で、視線誘導灯現状整理と合理化方針について追加検討することになったもの。

6-3-4. ETC データの活用に関する検討【追加】

阪神高速では、阪神高速及びその影響圏の交通状況を日々予測・推定するシミュレータを別途検討しており、本業務では、同シミュレータへ入力する OD の生成システムの仕様を追加検討することにしたもの。

6-3-5. 次世代交通マネジメントの今後の展開に向けた検討【追加】

次世代交通マネジメントの本格実装に向けて、別途実施した実証実験で用いた交通マネジメントシステムの機能や仕組み、データを活かした事業化の可能性についての整理が必要になったことから、追加で検討するもの。

以 上